

第4回全国中学生フェンシング選手権大会 要 項



主 催 (公社)日本フェンシング協会

主 管 東京都フェンシング協会

※若干の変更が生じる場合がありますので予めご了承ください。

実 施 要 項

1. 期日 : 平成30年7月21日(土)～23日(月)

2. 会場 : 駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場

〒154-0013 東京都世田谷区駒沢公園1-1

東急田園都市線 駒沢大学駅より 徒歩約15分

3. 競技種目:

中学生の部 男子/女子 フルーレ・エペ・サーブル個人戦

※個人戦は、2種目まで出場することができる。ただし、エペとサーブルは同時進行となるため、どちらか1種目の参加とすること。

中学生の部 男子/女子 団体戦(紅白戦)

フルーレ1名、エペ1名、サーブル1名、3名による5本勝負の紅白戦で行う。

※団体戦は所属団体から何チームでも出場できる。

4. 日 程 (概略)

| | | |
|----------|------------|---|
| 7月21日(土) | 8:30 | 屋内球技場開場 |
| | 8:50～9:10 | 技術委員会 |
| | 9:20 | 最終コール |
| | 9:10～9:30 | 審判会議 |
| | 9:40～9:50 | 開会式 |
| | 10:00～終了まで | 競 技(個人戦の部) |
| | | ○男子フルーレ 個人戦 ○女子エペ 個人戦 ○女子サーブル 個人戦 |
| 7月22日(日) | 8:30 | 屋内球技場開場 |
| | 9:20 | 最終コール |
| | 9:30～9:40 | 開始式 |
| | 10:00～終了まで | 競技(個人戦の部) |
| | | ○男子エペ 個人戦 ○男子サーブル 個人戦 ○女子フルーレ 個人戦 |
| 7月23日(月) | 8:30 | 屋内球技場開場 |
| | 9:20 | 最終コール |
| | 9:30～9:40 | 開始式 |
| | 10:00～終了まで | 競技(団体戦の部) |
| | | ○男子団体戦(フルーレ・エペ・サーブル各1名の紅白戦) |
| | | ○女子団体戦(フルーレ・エペ・サーブル各1名の紅白戦) |
| | 競技終了後 | 閉会式 |

5. 参加資格

1) 全ての参加選手・監督は平成30年度(公社)日本フェンシング協会登録済みの者とする。
(5月31日までに登録手続きを完了すること。)

- 2) 全ての参加選手は、保護者および支部協会長の承認を得た中学生とする。
- 3) (公社)日本フェンシング協会登録外の外国選手については、各カテゴリーに相当する者で、当該所属国に登録済みで、当該国フェンシング協会が推薦した者を審査し、参加資格を与える。当該国に登録済みであることを証明する書類を持参すること。
- 4) フルーレの部個人戦では以下のいずれかの資格を得たものが参加できる。

①各都道府県支部における出場資格(個人戦)

各支部は、平成30年5月31日時点の中学生の部クラス、各支部登録者数の40%以内の選手(日本協会ホームページに各支部の登録者の40%相当の人数を掲載する)に、予選競技会または推薦等により参加資格を付与するものとする。

②各ブロックにおける出場資格

各ブロックは、次表の人数以内の選手に、予選会または推薦等により参加資格を付与するものとする。

各ブロックの出場者数表

| ブロック名 | 平成30年ブロック推薦者数(フルーレ) |
|-------|---------------------|
| | 中学生男子・女子 |
| 北海道 | 1人 |
| 東北 | 6人 |
| 関東 | 8人 |
| 北信越 | 6人 |
| 東海 | 4人 |
| 近畿 | 6人 |
| 中国 | 3人 |
| 四国 | 2人 |
| 九州 | 2人 |
| 開催県枠 | 2人 |
| 計 | 40人 |

※開催都道府

③(公社)日本フェンシング協会は、下記に該当する選手に参加資格を付与する。

- i) 主管団体(東京都)が推薦する選手8名。平成30年度は、本協会と主管団体との協議により、5月に行われる東日本少年選手権のフルーレ種目上位8名に参加資格を付与する。
- ii) 2018世界ジュニア・カデ選手権のフルーレ種目の代表となった選手(中学生)のうち、代表選手としての活動(合宿、大会参加)等により、各支部およびブロックで行われる予選会等への出場が困難と認められる選手には、本協会が参加資格を付与する。

5) エペ・サーブル種目については、参加制限を設けない。

但し、両種目とも男女別60名を大きく超える場合は、参加人数制限を行う場合がある。その場合は、各都道府県のランキングに従い、出場資格を付与するものとする。

6) 団体戦について

1. チームは、(公社)日本フェンシング協会登録所属名とする。所属が別の混成チームは、認めない。
2. 男女ともにフルーレ1名、エペ1名、サーブル1名の3名で5本勝負の紅白戦で行う。
チーム編成は5名まで可能とし、その中で自由に種目の選手を入れ替えることが出来る。
3. 各団体から何チームでも出場できる。ただし、(公社)日本フェンシング協会登録団体名であること。
複数チーム参加の場合の名称は、登録名の後にA. B. C等を付与すること。
4. 試合方法は国体形式をとり、1回戦は3~4チームの総当たりプール戦とする。3試合すべて行う。
2回戦もプール戦(3~4チーム)とする。3回戦~決勝まではエリミナシオンディレクトのトーナメント方式とし、3位決定戦を行う。
5. 対戦種目の順序はメンバー票提出時に当該チーム同士の抽選により、決めることとする。

6. 参加費 : 個人戦 5,000円 団体戦1チーム 15,000円
個人戦参加資格を得た選手、団体戦チームの参加申込は下記の通りとする。

振込先
みずほ銀行 渋谷支店 普通預金
口座番号 9103523
口座名義 沖)ニホフエツシツク*キウカイ ミニムア*ガイ

7. 参加申込 :

Web登録による参加申し込みとします。

①申込期間 : 6月 11日(土)~7月 2日(月)

②Web登録による参加申込みは、2018年7月 2日(月)までに以下

リンク先より申し込み手続きをする事

<http://fencingsystem.jp/fes/>

※注意事項:

1) 申込開始期日(6/11)以前での申込はできない。

2) システム上、期日を過ぎた申込は一切受付できない。

3) 事前に協会登録を済ませた選手のみ登録が出来ます。

4) Webでの入力は、きちんと確認の上、完了してください。

※ 自動返信メールで内容に誤りがあった場合は、速やかにメールにてご連絡ください

5) 詳しい協会登録・試合登録の方法は下記マニュアルを参照して下さい。

<http://fencingsystem.jp/fes/manual/>

③参加申込方法の手順は、以下となります。※協会登録を済ませていない場合は④へ

1)「フェンシング登録サイト(<http://fencingsystem.jp/fes/>)」にログイン

2) 該当の団体の「管理」をクリック

3) 左側メニューの「試合登録」の中の「新規試合登録」をクリックし、

該当の大会の「登録」をクリック

4) 出場する選手と種目を選択して「確認」をクリック

※事前に協会登録が済んでいない選手は表示されません。

※複数の種目に複数の選手を一括登録できます

5)「確認画面」にて申込内容を確認

6) お支払い方法を「クレジットカード」「銀行振込」から選択

7)「クレジットカード」の場合は必要事項を入力して決済を完了

8)「完了画面」が表示されると、Webでの試合登録が完了。

「銀行振込」の場合は速やかにお支払いをお願いします。

※試合登録は7/2までに行ってください。入金後の返金はいかなる場合も行わない。

※自動返信メールで登録内容を再確認してください。

※試合登録の領収証は「試合登録」の中の「登録状況確認・領収証」から

一度だけダウンロードすることが出来ます。

④協会登録の手順は下記となります。

1)「フェンシング登録サイト(<http://fencingsystem.jp/fes/>)」で、メールアドレスを入力しパスワードを発行。

2) 該当の団体の「管理」をクリック

- 3) 左側メニューの「協会登録」の中の「2018年度協会登録」をクリック。
- 4) 昨年度の会員を「検索」または「新規追加」して登録者リストを作る。
- 5) 「確認画面」にて申込内容を確認
- 6) お支払い方法を「クレジットカード」「銀行振込」から選択
- 7) 「クレジットカード」の場合は必要事項を入力して決済を完了
- 8) 「完了画面」が表示されると、協会登録が完了。「銀行振込」の場合は速やかにお支払いをお願いします。

※自動返信メールで登録内容を再確認してください。

※協会登録の領収証は「団体メンバー一覧」から一度だけダウンロードすることができます。問合せメールアドレスは下記の通りです。

touroku@fencing-jpn.jp 登録事務局 宛て

※参加上の注意:

- ①参加選手は、大会における参加選手の写真及びデジタルデータについて、FJEまたはFJEが使用を許可した先が使用することを、了承するものとする。
- ② WEB参加申込後、出場を辞退する場合は、当該出場種目開始日の24時間前までに、(公社)日本フェンシング協会 事務局に対し文書(郵送またはファクシミリ)にて申し出ること。
- ③申込後、いかなる事由があっても参加費は支払うこと。大会不参加の場合でも、大会参加費用はお支払頂きます。

8. 未登録者及び申込期間後の参加申し込みは認めない。

9. 表彰

個人戦1・2・3位にはメダル・賞状、5位～8位に賞状を贈る。

団体戦優勝チームにはメダル・賞状を、2・3位にはメダルを贈る。

本大会のフルーレの部個人戦上位4人までの入賞者は、(公社)日本フェンシング協会が主催する海外派遣事業(研修)の候補選手として推薦する。

10. 競技方法

1) 試合規則

FIE(国際フェンシング連盟)および(公社)日本フェンシング協会試合規則の最新版を準用するが下記の項目については本大会のルールを適用する。

2) 試合方法

| | |
|--|---|
| ○個人戦男/女 フルーレ個人戦 エペ個人戦 サーブル個人戦 | <ul style="list-style-type: none"> ・プール戦とトーナメント方式でおこなう。 ・試合はプール戦5本先取 ・トーナメント戦は3分間2セットの10本先取とし、準々決勝から決勝までは3分間3セットの15本勝負とする。 |
| ○団体戦男/女 フルーレ・エペ・サーブル各1名 3名による紅白戦 | <ul style="list-style-type: none"> ・プール戦(3～4チーム)1回戦、プール戦(3～4チーム)2回戦とエリミナシオンディレクトのトーナメント方式でおこなう。 ・試合は5本先取、フルーレ、エペ、サーブルの紅白戦。 ・プール戦は勝敗がついても3試合すべて行う、トーナメントでは勝敗が付いた時点で終了とする。 |

シード順および組合せは、主催者において実施する。

※参加者数、参加チーム数等により、試合方法を変更する場合がある。

11. 武器用具装備

1) FIE競技規則第1編第4章 選手の装備:選手は、自己の責任において剣を持ち、用具、服装を着けて競技を行う。「自分の全責任の元に危険・災害に対して、武器・装具・服を着けて戦う。選手は、自分が加害者または被害者となるあらゆる事故に対して、責任を持たなければならない。ことを理解して試合に望むこと。

2) 用具は、2010年6月13日付け 競技における事故防止・安全管理について を適用する。

2010年6月13日付け 競技における事故防止・安全管理について(通達抜粋)
・ジュニア・カデ大会等(JOCカップ、国民体育大会(少年)、全国少年大会(中学生)他)
これら主催大会においては、直近のアジア連盟主催の「2010年アジアジュニアカデ大会要項等」の内容に基づき、安全確保が妥当と思われるため、以下の3点について適用することとした。

(ユニフォーム上下、プロテクター、マスク)

なお、その他の武器等については、大会要項による。

①ユニフォーム上下350N

②F.I.E公認マーク付き半袖付プロテクター800N

③F.I.E公認マーク付きマスク1600N

・2015年1月8日付け「マスクの安全基準改定について」を適用する。

レオンポールマスクの2番目の安全ベルトの装着

・2016年2月14日付け「サーブル・グローブに関する規定変更について」今回は適用しない。

※男子は、チェストプロテクター使用を認めない。

3) その他

①中学生はユニフォームについても、800N以上の衝撃に耐えうるものを着用することを推奨する。

②ストッキングは、白色の膝の出ない長めのものを使用すること。

③中学生のフルール種目におけるマスクは、電導ビブ付きを使用する。

エペ種目で電導ビブ付きマスクを使用することはできない。(ビブ付マスクをテープで貼ることも不可)

④透明マスクは全種目使用禁止。「2月20日付け・日本フェンシング協会 通達」参照。

⑤中学生の女子選手は、金属または固い材料で出来ている胸当てを両胸に着用すること。

⑥ゼッケンを図のように作成し、各自後ろ足膝の上、外側に必ずつけること。姓を男子は黒字、女子は赤字でピスト係が判別できるよう(太さ1cm以上)に記入し、同一校、クラブに同姓の者がいる場合は識別できるまで名をつける。付けていない場合はイエローカードを付加する。

ゼッケン

| |
|----------|
| 姓 名 |
| 学校又はクラブ名 |

4) 用具検査 事前の用具検査は行わない。

審判員は、試合開始前にピスト上で選手のユニフォーム・プロテクター・マスク等の劣化やほころび等を確認する。その際、劣化やほころび等があると認められた場合、選手はイエローカードの警告を受け、適正なものに交換しなければならない。

12. 宿泊 各自、手配すること。

13. 安全管理 参加者は競技会の全般における安全管理については、特に留意して臨むこと。

①各選手・監督には主催者が競技会における傷害保険をかける。

②各選手は事前にスポーツ傷害保険等、他の保険に加入することが望ましい。

◎試合中のケガについての責任は、主催者では負いかねますので、ご了承の上、申し込んでください。

※本競技会参加者は競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程に従い、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなす。